



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月8日
上場取引所 東

上場会社名 アコム株式会社
 コード番号 8572 URL <https://www.acom.co.jp/corp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 政孝
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 岡本 貴史 (TEL) 03-5533-0861
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (国内外機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	135,068	2.8	48,798	0.9	48,846	△0.0	33,016	△15.7
2022年3月期第2四半期	131,423	△2.6	48,370	△11.2	48,868	△11.8	39,147	△10.0

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 49,440百万円(18.8%) 2022年3月期第2四半期 41,621百万円(△2.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	21.08	—
2022年3月期第2四半期	24.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,309,403	605,702	43.4
2022年3月期	1,263,296	563,963	42.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 568,543百万円 2022年3月期 531,880百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
2023年3月期	—	5.00			
2023年3月期(予想)			—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	268,300	2.3	87,900	152.7	88,200	148.9	62,400	12.1	39.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	1,566,614,098株	2022年3月期	1,566,614,098株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	50株	2022年3月期	50株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	1,566,614,048株	2022年3月期2Q	1,566,614,098株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2022年11月9日(水)に国内外機関投資家・アナリスト向けにWeb会議等を開催する予定です。なお、このWeb会議で使用する決算補足説明資料は、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9
3. [参考] 四半期財務諸表 (個別)	10
(1) [参考] 四半期貸借対照表 (個別)	10
(2) [参考] 四半期損益計算書 (個別)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症への対策や各種政策により、経済社会活動の正常化が進み、景気は持ち直しの傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大を背景に消費行動を自粛する動きが見られました。加えて、世界的な資源価格の高騰や国際情勢の緊迫、円安の急進などもあり、物価上昇による個人消費の落ち込みが懸念されることから、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、海外においては国ごとに状況は異なるものの、タイ王国においては新型コロナウイルス感染症の沈静化を背景に、個人消費の拡大による景気動向の持ち直しの動きが見られました。フィリピン共和国においても同様の状況であるものの、インフレの高進によって個人消費の拡大に鈍化が見られました。

国内のノンバンク業界においても、国内経済同様に先行き不透明な状況が続いております。また、利息返還請求件数については減少しておりますが、外部環境の変化等の影響を受けやすいことから、引き続き動向に留意する必要があります。

このような中、当社グループは、お客さまや従業員の安全に配慮しつつ営業活動を継続するとともに、お客さまからの返済相談等に対して柔軟かつ丁寧に対応してまいりました。

当社グループは、2023年3月期を初年度とする新中期経営計画を策定いたしました。これを機に、各ステークホルダーへの約束をビジョンとして掲げ、このビジョンの実現に向け3年間で取り組むことを中期方針として定めました。コロナ禍を始めとする外部環境が変化する中においても、ビジョンや中期方針に沿った営業活動を引き続き推進してまいります。

当第2四半期連結累計期間における営業収益は、信用保証残高の増加に伴い信用保証収益が増加したことや、円安の為替影響により営業貸付金利息が増加したこと等により、1,350億6千8百万円（前年同期比2.8%増）となりました。また、営業費用は、営業貸付金等の増加に伴い貸倒引当金繰入額が増加したこと、および広告宣伝費が増加したこと等により、862億6千9百万円（前年同期比3.9%増）となりました。その結果、営業利益は487億9千8百万円（前年同期比0.9%増）となりました。一方、前期においてはコロナ禍に伴う雇用調整助成金を営業外収益に計上していたことから、経常利益は488億4千6百万円（前年同期比0.0%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等調整額の増加を主因に、330億1千6百万円（前年同期比15.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末に比べ総資産は461億7百万円の増加、純資産は417億3千9百万円の増加となりました。資産、負債、純資産の増減状況は次のとおりであります。

(資産の部)

資産の部については、流動資産が556億8千7百万円の増加、固定資産が95億8千万円の減少となり、資産合計では461億7百万円の増加となりました。流動資産の主な増減内容は、営業貸付金(337億6千2百万円)、現金及び預金(142億2千9百万円)などの増加であります。なお、営業貸付金の増加要因には為替影響が含まれております。固定資産の主な増減内容は、繰延税金資産(76億3千6百万円)などの減少であります。また、流動資産と固定資産に計上している貸倒引当金は、合計で10億6百万円の増加となりました。

(負債の部)

負債の部については、流動負債が229億2千4百万円の増加、固定負債が185億5千6百万円の減少となり、負債合計では43億6千7百万円の増加となりました。主な増減内容は、借入金・社債などの資金調達残高(288億2千5百万円)などの増加、利息返還損失引当金(148億1千1百万円)などの減少であります。

(純資産の部)

純資産の部については、利益剰余金の増加により株主資本が267億5千万円の増加、為替換算調整勘定の増加などによりその他の包括利益累計額が99億1千2百万円の増加、非支配株主持分が50億7千6百万円の増加となり、純資産合計では417億3千9百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は1.3ポイント増加し43.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の通期連結業績見通しにつきましては、2022年5月13日に公表いたしましたとおり、営業収益2,683億円、経常利益882億円、親会社株主に帰属する当期純利益624億円を見込んでおります。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報等に基づいて作成したものであります。しかしながら、当社グループの事業展開上リスクとなる可能性がある要素が複数存在しております。特に新型コロナウイルス感染症拡大の影響により停滞している経済活動が、回復することを前提に計画を策定しております。そのため、実際の業績等は大きく異なる可能性があります。

また、利息返還請求の動向は、外部環境の変化等に影響を受けやすいことから特に不確実性が高く、その影響として利息返還損失引当金繰入額を計上する場合があります。

最終の業績はこれらのリスクを含むさまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	74,242	88,472
営業貸付金	975,282	1,009,044
割賦売掛金	88,640	95,456
買取債権	7,988	7,980
その他	85,479	87,409
貸倒引当金	△77,632	△78,675
流動資産合計	1,153,999	1,209,687
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,451	2,881
器具備品（純額）	7,589	7,725
土地	1,351	—
その他（純額）	198	88
有形固定資産合計	12,590	10,695
無形固定資産		
のれん	1,252	993
ソフトウェア	5,856	6,431
その他	43	43
無形固定資産合計	7,152	7,468
投資その他の資産		
投資有価証券	1,238	1,353
退職給付に係る資産	5,986	5,705
繰延税金資産	73,961	66,324
差入保証金	5,133	4,973
その他	3,970	3,896
貸倒引当金	△737	△701
投資その他の資産合計	89,553	81,552
固定資産合計	109,296	99,716
資産合計	1,263,296	1,309,403

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	797	309
短期借入金	15,284	31,743
コマーシャル・ペーパー	24,999	39,997
1年内返済予定の長期借入金	94,429	110,356
1年内償還予定の社債	58,720	43,850
未払法人税等	13,648	6,302
債務保証損失引当金	8,873	8,831
資産除去債務	611	482
割賦利益繰延	25	23
その他	12,965	11,380
流動負債合計	230,355	253,279
固定負債		
社債	119,010	109,645
長期借入金	257,899	263,575
利息返還損失引当金	86,200	71,388
退職給付に係る負債	784	923
資産除去債務	4,779	4,658
その他	305	231
固定負債合計	468,978	450,421
負債合計	699,333	703,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	63,832	63,832
資本剰余金	69,861	69,861
利益剰余金	393,163	419,913
自己株式	△0	△0
株主資本合計	526,857	553,607
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	4,306	14,260
退職給付に係る調整累計額	716	675
その他の包括利益累計額合計	5,023	14,936
非支配株主持分	32,082	37,158
純資産合計	563,963	605,702
負債純資産合計	1,263,296	1,309,403

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業収益		
営業貸付金利息	82,142	83,123
包括信用購入あっせん収益	5,289	5,933
個別信用購入あっせん収益	33	33
信用保証収益	26,518	27,789
買取債権回収高	2,182	2,208
その他の金融収益	39	298
その他の営業収益	15,216	15,681
営業収益合計	131,423	135,068
営業費用		
金融費用	2,888	2,038
債権買取原価	845	768
その他の営業費用	79,317	83,462
営業費用合計	83,052	86,269
営業利益	48,370	48,798
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	13	25
持分法による投資利益	19	11
受取家賃	88	92
助成金収入	363	—
その他	24	31
営業外収益合計	510	161
営業外費用		
支払利息	4	1
為替差損	4	103
その他	3	8
営業外費用合計	13	113
経常利益	48,868	48,846

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	0	1,115
特別利益合計	0	1,115
特別損失		
固定資産売却損	0	66
固定資産除却損	80	85
減損損失	81	—
その他	1	4
特別損失合計	164	157
税金等調整前四半期純利益	48,704	49,805
法人税、住民税及び事業税	4,710	6,236
法人税等調整額	2,394	8,082
法人税等合計	7,104	14,318
四半期純利益	41,599	35,486
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,451	2,469
親会社株主に帰属する四半期純利益	39,147	33,016

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	41,599	35,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	8	13,993
退職給付に係る調整額	13	△39
その他の包括利益合計	21	13,954
四半期包括利益	41,621	49,440
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,173	42,929
非支配株主に係る四半期包括利益	2,447	6,511

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、2022年11月7日開催の経営会議において、マレーシアにおける当社100%子会社であるACOM (M) SDN. BHD. が同国にて個人向け無担保ローン事業に進出すること、および同社への増資を行うことを決議いたしました。

1. 目的

同国において、ACOM (M) SDN. BHD. が2022年10月6日付で事業ライセンスの取得が条件付きで承認されたことにより、個人向け無担保ローン事業への進出および事業開業当初に必要な運営資金のための増資を行うものであります。

2. 子会社及び増資の概要

- | | |
|--------------|---|
| (1) 名称 | ACOM (M) SDN. BHD. |
| (2) 事業内容 | 貸金業サービスの提供およびその他の関連事業 |
| (3) 増資額 | 1回目 … RM13,000,000 (増資後の資本金 : RM15,000,000)
2回目 … 増資後の資本金が10億円相当 (且つ10億円以内) となる現地通貨額 |
| (4) 増資後の出資比率 | 当社100% |
| (5) 払込日 | 1回目 … 2022年12月 (予定)
2回目 … 未定 |

3. [参考] 四半期財務諸表 (個別)

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

(1) [参考] 四半期貸借対照表 (個別)

(単位:百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	69,334	84,423
営業貸付金	783,155	791,882
割賦売掛金	87,962	94,724
求償債権	54,519	56,256
その他	18,291	17,170
貸倒引当金	△56,600	△58,130
流動資産合計	956,664	986,327
固定資産		
有形固定資産	11,705	9,849
無形固定資産	6,928	7,204
投資その他の資産		
繰延税金資産	75,717	69,332
前払年金費用	4,750	4,538
その他	25,447	25,718
貸倒引当金	△700	△670
投資その他の資産合計	105,215	98,919
固定資産合計	123,849	115,973
資産合計	1,080,514	1,102,301
負債の部		
流動負債		
買掛金	784	303
短期借入金	5,000	10,000
コマーシャル・ペーパー	24,999	39,997
1年内返済予定の長期借入金	86,540	98,858
1年内償還予定の社債	45,000	40,000
未払法人税等	11,087	3,713
債務保証損失引当金	8,010	7,960
資産除去債務	611	482
その他	10,517	9,569
流動負債合計	192,551	210,885
固定負債		
社債	95,000	80,000
長期借入金	240,461	247,801
利息返還損失引当金	86,200	71,388
資産除去債務	4,545	4,400
その他	225	190
固定負債合計	426,431	403,779
負債合計	618,982	614,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	63,832	63,832
資本剰余金	72,322	72,322
利益剰余金	325,375	351,480
自己株式	△0	△0
株主資本合計	461,531	487,635
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	0
評価・換算差額等合計	0	0
純資産合計	461,531	487,635
負債純資産合計	1,080,514	1,102,301

(2) [参考] 四半期損益計算書 (個別)

第2四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業収益		
営業貸付金利息	58,769	58,725
包括信用購入あっせん収益	5,289	5,933
信用保証収益	21,511	22,648
その他の金融収益	13	179
その他の営業収益	11,753	12,104
営業収益合計	97,336	99,591
営業費用		
金融費用	1,745	1,358
その他の営業費用	60,639	62,679
営業費用合計	62,384	64,038
営業利益	34,951	35,552
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	4,436	5,742
その他	434	124
営業外収益合計	4,872	5,867
営業外費用		
支払利息	4	0
為替差損	4	106
その他	3	6
営業外費用合計	12	114
経常利益	39,811	41,305
特別利益		
固定資産売却益	—	1,115
特別利益合計	—	1,115
特別損失		
固定資産売却損	—	66
固定資産除却損	78	79
減損損失	81	—
その他	1	4
特別損失合計	162	151
税引前四半期純利益	39,649	42,269
法人税、住民税及び事業税	2,401	3,513
法人税等調整額	1,275	6,385
法人税等合計	3,676	9,899
四半期純利益	35,973	32,370